

毎週日曜発行  
2024 7/21

# こども新聞 週刊がほピヨンス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



## 地球のためにできること

### 市役所屋上でミツバチ飼育



宮城県富谷市役所の屋上で、20万匹近いミツバチが飼育されています。市民有志が世話をし、蜂蜜を集める「とみや はちみつプロジェクト」。本年度で8年目を迎えます。

きょうのテーマ

# 花を咲かせる緑増やそう



した。(8面に関連記事)

「ミツバチが元気に暮らせる街にしよう」。関係者の呼びかけに応え、この間、地元の小学校や町内会がハチが蜜を集める花の苗を植えるなど、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の15番目「陸の豊かさも守ろう」を指す活動として広がっているんだ。



地上13メートルの高さにある富谷市役所屋上の一角に、木製の巣箱が18個、並んでいます。市が場所を提供し、有志のボランティアが週に1回、巣箱を観察したり蜜を採取したりします。巣箱の中から取り出し

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



巣箱の中にあるミツバチの様子を観察するボランティアら  
＝富谷市役所

た巣枠には、ミツバチがびっしり。無数のハチが飛び交う中でボランティアは、女王バチが元気でハチが増えているか、蜜がたまっているかを確かめます。

本年度初めてボランティアに加わった阿部生子さん(69)は「ミツバチは愛らしく、羽音を聞く心地よい。ハチのために

なることをしてあげたくなる」と言います。阿部さんをはじめ本年度は、市の募集に応じた30、70代の27人が交代で作業に当たっています。

5月中旬に採り始めた蜜は市内の菓子店にスイーツの材料として販売するほか、一般向けに瓶詰めした商品も売ります。前年度は328キロを

収穫しました。



プロジェクトは市が目指す「スイーツのまち」にちなんだ事業の一環として、2017年度に始まりました。ミツバチの天敵であるクマに荒らされる心配がなく、市民と行政による協働の活動にふさわしい場所として、市役所の屋上を舞台に選んだそうです。

「蜂蜜を採ることだけが目的ではないんです。プロジェクトの推進協議会会長を務める村上幸枝さん(61)はこう話します。

ミツバチが蜜をたくさん集めるには、身近でいろんな花を咲かせる緑を守り、増やしていかないといいません。「たくさんの市民に関心を持ってもらい、ミツバチが元気に暮らせる良い環境をつくりたい」と村上さんは願っています。

### 今週の注目ニュース

◇26日(金) パリ五輪開幕  
ジェンダー平等を目指し、史上初めて男女の選手数が同じになります。206の国・地域などが参加予定です。初採用のブレイキン(ブレイクダンス)を含め32競技329種目が行われます。8月11日まで。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 夏休み 推しの一冊
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 ミツバチの生態を知ろう